

取組事例

「涼夏少雪の郷」新ひだか町における滞在・移住の促進

(新ひだか町)

新ひだか町では、温暖冷涼な気候と豊かな自然環境を活用し、「ちょっと暮らし体験事業」等による滞在・移住の促進を図り、新たな人の流れをつくる取り組みを行っている。

関連数値目標・KPI ※代表的なものを記載

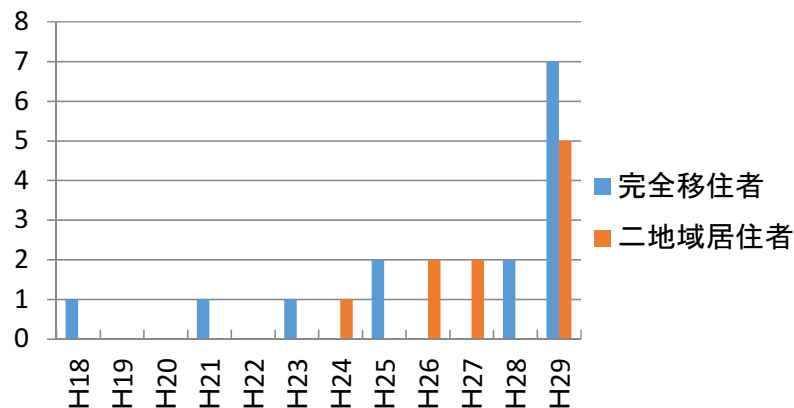
	基準値 (H26)	実績 (H29)	目標値 (H31)	進捗率 (%)
完全移住・二地域居住開始者数	8	8	8	100

取組の推進体制

役場内にワンストップ窓口を設け、移住に対する相談対応を行うほか、当町への移住に向けた体験施設として「ちょっと暮らし体験住宅」を整備し運用している。

また、新ひだか町へ移住された方が主体となり「新ひだか暮らしサポーターズ」を立ち上げ、官民の連携による取組を効果的に推進。

ちょっと暮らし体験住宅利用者の完全移住・二地域居住者の状況



完全移住者・二地域居住者が、近年増加傾向にある

取組事例

滞在・移住の促進に向けた取り組み

「ちょっと暮らし体験事業」による滞在・移住の促進

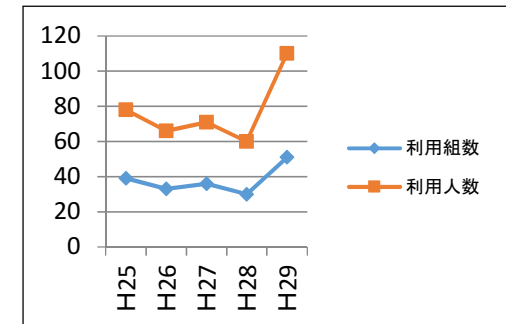
○主な取組

- ・「ちょっと暮らし体験住宅を10戸整備し、利用の拡大を図る。
(平成28年度に地方創生交付金を活用し、4戸増設)
- ・ワンストップ窓口を設置し、移住等の相談に対し、細やかに対応。

○主な成果

- ・体験住宅利用者数が30組60人から51組110人に増加。

【ちょっと暮らし体験住宅利用実績(過去5年)】



「新ひだか町暮らしサポーターズ」による移住サポート

○主な取組

- ・移住検討者に対し、移住に向けての情報提供や相談対応。
- ・ちょっと暮らし体験住宅利用者、移住検討者、移住者、二地域居住者の出会いと交流の場として「移住・交流カフェ」を開催。

○主な成果

- ・官民連携による、より良い移住へのサポートを行うことにより、完全移住者・二地域居住者が増加している。

【平成29年度「移住・交流カフェ」の様子】

